

次世代眼科医療を目指す、技術通信技術(ICT)/人工知能を活用した画像等データベースの基盤構築研究へのご協力をお願い

本研究の目的

医療の適正化、医学の向上を目的として、日本眼科学会が主導して、名古屋大学を含む全国の基幹病院から画像データならびに基本的な診療データを広く集める体制を作ります。

収集されるデータについては、眼科以外の診療科のデータとも連携が可能なものとして、広く医療にかかわるデータの統合を行います。

将来的には、収集された大量のデータ(ビッグデータ)は、人工知能による解析などに活用され医療や医学研究の推進に活用されます。

研究期間

実施承認日から平成 34 年 3 月末といたしますが、必要と判断される際には期間を延長することがあります。

参加施設

情報収集機関：日本眼科学会

情報提供機関：名古屋大学大学を含む以下の大学等から情報を収集いたします。

筑波大学、東京大学、京都大学、大阪大学、京都府立医科大学、東北大学、九州大学、名古屋市立大学、山形大学、山梨大学、岐阜大学、秋田大学、鹿児島大学、金沢大学、福井大学、神戸大学、新潟大学、岡山大学

※なお、参加施設については今後増加する予定です。

情報解析機関：日本眼科学会、国立情報学研究所及び東京大学

※情報解析機関については今後増加することが検討されております。

収集データ

患者さんの基本となるデータと眼科の診療データが対象となります。

※収集するデータについては、機器の進歩や解析過程において追加されることがあります。

研究の方法

本研究では通常の診療で収集されたデータの収集を行うもので、研究のために患者さんに負担や危険を伴う検査や処置などを行うことはありません。また データは個人を特定するための情報を削除して取り扱いますので、個人情報が増えることはありません。

データの送信は個人の特が可能な情報を削除した後に、国の研究機関である国立情報学研究所が管理運営し、高いセキュリティを持った SINET という専用回線を介

して日本眼科学会に送信されます。収集されるデータは他の診療域との連携が可能なように特殊な符号がつけられ十分なセキュリティを確保して管理されます。

データ解析の解析は国立情報学研究所へ専用回線である **SINET** を介して送信されセキュリティが十分に確保された解析用サーバー内で解析・保管されます。

データの収集やアクセスの管理については、国の医療情報管理指針などを参照にして厳格に行います。

情報の管理責任者

日本眼科学会：長谷川高志

国立情報学研究所：佐藤 真一

研究対象者

名古屋大学の眼科を受診した全患者が対象となりますが、参加しない意思を表明した方は除外されます。

研究不参加について

本研究は学術研究であることから、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則り、患者さん方にその内容の告知を行うオプトアウトという方法で行います。本研究に参加を希望されない方は、各施設の担当者にその旨をお話してください。不参加の通知は本研究期間中であればいつでも大丈夫です。

本研究に関するご質問先

本研究について質問がございましたら、名古屋大学眼科 上野 真治

(電話 052 744 2277 , ファックス 052 744 2278)

もしくは、日本眼科学会 (03-3293-9384) までご連絡下さい。